

支援の衣類10箱分

富士見

今秋フィリピンを立て続けに襲った台風で被災し、家財道具を失った人たちに衣類や文房具を送ろうと呼び掛け、富士見町の富士見カトリック

と喜んでいる。



集まった衣類を箱詰めする小平さん（右）ら＝富士見カトリック教会

活動には、地域で外国人支援をしている茅野市のNPO法人「ねこじゃらし茅野」も協力。教会や同法人には、活動を知った住民から「冬物でもいいか」「少し着たもので大丈夫か」といった連絡が相次ぎ、「送料もかかるでしょう」と現金の寄付の申し出もあった。

集まった衣類は、下着やワイシャツ、タオルなどの新品や洗い立ての品ばかり。中には、新品のポロシャツなど50枚ほどを持参した人も。やせて着られなくなったという紳士服一式や、化粧品などもあった。既に5箱分は現地に送り、残りも近く送る。

フィリピンには、台風16号が9月下旬、17号が10月上旬に上陸。両台風での死者は計

770人余に上った。同教会などでシスターを務める同国出身のデイル・サーベドラスが現地を視察した後、支援を呼び掛けた。

NPO法人メンバーでもある同国出身の小平エリザベスさん「富士見」は「たくさん集まり、本当にありがたい」と感謝。同教会は27日のミサが今年最後の行事となるため、27日正午～午後2時に寄付を受け付け、区切りとする。